

8 昭和52年度特定海域放射能調査

吉川 一 男

1 調査目的

原子力軍艦の寄港地をもっている沖縄県の特殊な背景を考慮し、周辺海域への放射能汚染度の測定を実施し、県民の安全を確保するための措置をとる必要がある。各種の監視体制の中で沖縄水試の場合特定海域 ホワイトビーチ周辺において海産生物の放射能汚染度の追求のため水産庁東海区水産研究所の委託を受け試料の採取をなし前処理し送付する。

2 調査方法及び内容

○調査要領

「原子力軍艦放射能調査指針大綱」に準拠し、測定試料については東海区水産研究所と協議の結果表-1のとおりである。

○使用船舶

くろしお(21.44トン、100PS)比嘉船長外6名

○調査期間 昭和52年4月1日～昭和53年3月31日

○調査担当 沖縄水試 漁業室

○調査海域 中城湾全域

表-1 測定に供する海産生物の種類

試料	重量	採取方法	使用船舶	
魚類	アイゴ類	4kg以上	刺網、建干他	くろしお、備船、購入
	ドロクイ	〃	〃	〃
	ブダイ類	〃	〃	〃
	タマガシラ	〃	〃	〃
	ヒメジ類	〃	〃	〃
	コチ類	〃	〃	〃
	エソ類	〃	〃	〃
	タチウオ	〃	〃	〃
貝類	シャコガイ	3-4kg	潜水	備船
藻類	ホンダワラ属	〃	〃	〃
その他	ナマコ類	〃	〃	〃

※ 上記試料重量は核種分析をする場合の定量限界であり、全β分析の場合は生体200gで足りる。

